



## ほっちのロッヂ

設計：安宅研太郎 / パトラック + 池田聖太 / 3916  
施工：第一建設

左：北側外観（環境保全地「ヤツホーの丘」からの眺め）。右：アトリエ前の大屋根下の空間。

診療所とおおきな台所のあるところ「ほっちのロッヂ」は、新しい医療と福祉とエトセトラな活動を行う場である。活動の内容を制度的に言えば、デイサービスであり、訪問医療・看護のステーションであり、診療所であり、病児保育室である。しかし、ほっちのロッヂでは、医療者やスタッフ、利用者を含め、サービスする側／される側、病気のあるなしといった立場をなるべく作らない運営が目指されている。あらかじめ決められたタイムテーブルに従って、全員で歌を歌ったり、絵を描いたり、ということもしない。スタッフを含め、そこに集まった人たちそれぞれが得意なこと、やりたいことを大切に、共に豊かに暮らすことを重視している。だから、みんなが集まる大きな部屋は作らずに、さまざまな活動を可能にする小さな場の集積として全体をつくっている。

隣接する学校の子供たちが放課後に遊びまわり、自然と施設内の活動に入ってきたり、話をしたり、飲食をともにしたりして、いつの間にか建物内でも時間を過ごしていい。そういうきっかけをたくさん散りばめたくて、建物の外形を凸凹にして複数の半屋外の庭をつくり、それぞれから出入りできるようにしている。

カラマツ林の林床は、植生調査をすると、200種類ほどの在来植物が繁茂する豊かな植生であることがわかった。そのため工事前にワークショップを開催し、工事範囲の林床をトレーに採取し保管した。これらは工事で傷んだ建物周辺の植生の再生に利用された。また工事範囲のカラマツを伐採し、そのほとんどを製材所で製材して外装に利用している。

軽井沢町の景観条例では、屋根の勾配を2/10以上にすることや軒の出を確保するなど、細かな外観の規定がある。医療や福祉の建築はなるべく平屋でフラットに過ごせる場が望まれ、1階に必要なものを並べると平面が大きくなって、勾配屋根を採用すると必然的に棟の高さが高くなってしまふ。ここではそうしてできる架構を利用しながら、それに沿って高い天井の部分をつくったり、気積を抑えるために天井を低く抑えたり、部屋の半分の天井を逆勾配にしたりと、空間のパリエーションを作り出している。それらが床から2000まで下がってくる垂れ壁と合わさって、小さな場の創出にうまく働いている。



南東角から建物内をのぞむ。手芸スペース、ライブラリー、キッチン、書斎、アトリエの活動が見通せる。



西側から見る。右下に新たにつくった溜池があり、雨水を誘導している。



北側の玄関前。大きな庇の下は救急車や高齢者などの送迎スペースとなる。

### ◎貴重な林床植生によって早期に回復する外構計画

敷地は地下水位が高く表層土は攪乱すると排水不良になるため現況の改変を最小限に抑え現況地形に沿って雨水や浄化処理水を浸透させている。根伐土のみで屋外空間の地盤を形成し、伐採したカラマツの小径部で土留や階段、浅間砂利、着工前に採取した林床のターフなど、地域のものだけで構成された外構となっている。



林床植生の採取ワークショップの様子



トレーに移された林床植生。



事前の植生調査では200種を超える在来植物を確認している。



南側外観。いくつかの凹みに溜り場があり、建物内にアクセスできる。



アトリエ前を相談室側から見る。



アトリエから座敷側を見る。アトリエと大屋根下の空間の連続。



アトリエから「ヤッホーの丘」をみる。アトリエはステージとしても機能する。



ほっちのロッヂ1周年マーケットでのバンド演奏の様子。  
大屋根下が観客席となる



アーティストが一定期間ほっちのロッヂに滞在し、作品を制作する「交換留藝」の一環として制作された演劇を、アトリエをステージとして発表する様子。

### ◎アトリエ / 大屋根下の空間

建物の西端に位置するアトリエは、扉を閉めれば全体から独立したスペースとなり、大屋根下に面した建具を開け放せば、大きな作業場として、また舞台のステージとして機能する。



ダイニングから座敷方向を見る。キッチンでは毎日ランチが作られるほか、医師を含めたスタッフが調理することもある。



ロフトからダイニングを見下ろす。向かい側の窓は2階の診察室。



ダイニングから土間、座敷方向を見る。左側にはライブラリーも連続する。

◎ダイニング / 座敷 / キッチン / 土間

施設の中央に大きなキッチンがあり、日々のランチが用意され、敷地で採れた作物でジャムが作られる。スタッフの事務スペースは存在せず、ノートパソコンを持って、思い思いの場所で仕事をしている。病後児保育のこども、高齢者、地域住民などが自然と居合わせる。



ダイニングと書いているけれど、卓球をしたり、ピアノを弾いたり、カンファレンスを行ったり、ヨガをしたり、そこここで、いろいろなことが行われている。

